

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成29年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立武田の杜保健休養林	所管課	森林環境部 県有林課
所在地	甲府市山宮町片山3371 外	設置年月日 (改築年月日等)	昭和54年3月14日
指定管理者	山梨県造園建設業協同組合		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立武田の杜保健休養林設置及び管理条例		
設置目的	青少年その他の県民に自然に親しむ環境を提供することにより、健康の増進及び豊かな情操のかん養を図るため設置する。		
主な施設内容 (定員等)	○面積:2,500ha ○施設の内容 ・健康の森:サービスセンター352㎡、森林学習展示館88㎡、展望休憩室15㎡、キャンプ場ログキャビン3棟、癒しの小径10.9km等 ・樹木見本園:休憩舎21㎡等 ・幹線遊歩道:遊歩道23.6km、展望休憩舎3棟等 ・鳥獣センター:管理棟369㎡、展示館210㎡等		
主な業務内容	(1)キャンプ場利用の承認に関する業務 (2)施設等の維持保全に関する業務 (3)森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 (4)鳥獣に関する知識の普及のための催しの実施及び鳥獣の保護に関する業務 (5)自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会の提供に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山梨県森林公園金川の森(どんぐりの森、スポーツの森、かぶとむしの森等)
---------------------	-------------------------------------

## 3 利用状況

単位：人、%

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (目標値)
利用者数	利用者数	99,326	100,412	100,612	
	利用者数合計	99,326	100,412	100,612	
	目標値	88,161	89,042	89,932	90,831
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度目標値×1.01			
	対27年度比		101.1%	101.3%	
利用率		313人/日	320人/日	317人/日	
		59.0%	64.4%	62.5%	

## 4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成28年度	平成29年度 (計画値)	平成29年度 (実績値)	平成30年度 (計画値)
収入	施設利用料	840,250	740,000	827,640	770,000
	指定管理者委託料	41,508,000	41,508,000	41,508,000	41,508,000
	その他	493,023	510,000	672,463	530,000
	収入合計(A)	42,841,273	42,758,000	43,008,103	42,808,000
支出	人件費	25,761,191	24,897,800	25,962,554	25,720,300
	県への納付金				
	管理運営費	15,908,239	17,910,200	16,431,276	17,137,700
	うち外部委託費(B)	4,962,544	4,900,000	5,702,385	4,650,000
	支出合計(C)	41,669,430	42,808,000	42,393,830	42,858,000
	収支差額(A-C)	1,171,843	△ 50,000	614,273	△ 50,000
	外部委託比率(B÷C)	11.9%	11.4%	13.5%	10.8%
	利用者一人当たりの経費	413.4	461.5	412.6	457.0

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成29年4月～平成30年3月 実施方法:来園者へのアンケート 回答数:509人
-------	---

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①整備・施設状況	68.4%	30.0%	1.3%	0.3%
②開園日、開園時間	77.6%	20.9%	1.5%	
③スタッフの対応	83.4%	15.6%	0.6%	0.4%
④プログラムの内容	77.5%	21.2%	0.8%	0.5%
⑤申し込み方法	70.4%	27.1%	2.5%	
⑥学習展示館の展示内容	51.2%	41.2%	7.0%	0.6%
施設全般の満足度	73.2%	25.4%	0.7%	0.7%

利用者の意見	<p>森の癒し効果を体験でき満足できたとの回答が多くを占めた。 改善を求めるものとして、PRをもっと積極的に行うべきという周知に係る意見があった。 また、キャンプ場のトイレが汚いとの意見があった。</p>
利用者の意見への対応	<p>森林セラピーの効果が満足度の高さにもつながっており、今後も積極的に推進していく。周知活動については、ホームページ、ちらし配付等によるPRのほか、SNSによるリアルタイムの情報発信に取り組んだ。 キャンプ場トイレについて、各職員が利用者の視点に立ち、こまめな点検、清掃を実施した。</p>

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>委託業務と併せ、全職員による清掃等施設の美化活動を徹底し、利用者の快適性向上に努めた。</p> <p>また、遊歩道危険箇所の重点的なパトロールを実施し、腐朽した木製階段の撤去を行うなど、利用者の安全対策に努めた。</p>	<p>業務計画書に基づき、施設の維持管理が適正に実施されている。また、利用施設の快適性向上への取り組みや、遊歩道階段の損傷箇所の点検、補修など利用者の安全対策への迅速な対応も評価できる。</p>
運営業務	<p>森林セラピーなど、森林の癒し効果を活用した事業や、トレイルランなどPR効果の高い事業を、地域との連携を重視しながら開催した。</p> <p>また、イベントの予定表をJR駅構内等に配置するなどPRに努めた。</p> <p>さらに、キャンプ場の清掃点検を徹底するなど、利用者への快適なサービス提供に努めた。</p>	<p>業務計画に基づき、森林セラピーやトレイルラン、新たにポールウォーキングなど集客効果の高い事業を積極的に実施した。</p> <p>また、常に利用者の快適性を最優先とした施設運営に取り組んでおり、高い評価を得たことは評価できる。</p>
利用状況	<p>介護施設、幼稚園の利用や、年配者のウォーキング、バードウォッチングなどのリピーター利用が増加し、利用者の増加につながった。</p> <p>さらに、中学、高校、大学などのインターンシップを受け入れ、新たな利用者の確保に努めた。</p>	<p>新たな利用者の確保やリピーターの増加に努め、利用者の増加を果たしたことは評価できる。</p>
収支状況	<p>主催事業参加者の増などにより、事業収入が増となった。</p> <p>また、光熱水費等の節減により収支改善を図り、指定管理委託料の範囲内の収支に収めることができた。</p>	<p>主催事業参加者増加への取り組みや、光熱費等支出の節減など、収支改善に努めたことは評価できる。</p>
自主事業	<p>武田の杜トレイルランニングレースのほか、ツリークライミング、ナイトツアー、トレッキングツアーや、前夜祭を併催したジュニアトレイルランニング等を実施し、参加者から高い評価を得た。</p> <p>また、湯村温泉とタイアップし温泉券を配布するなど、周辺観光施設の活性化につなげた。</p>	<p>多様な森林や、眺望の良さを活かし、かつキャンプ場施設を活用できる集客力のある自主事業を開催したほか、周辺観光施設とのタイアップ企画をするなど、利用者増加に向けた積極的な取り組みは評価できる。</p>
利用者満足度	<p>施設の特性を活かしたイベントの開催等により、多くの利用者から高い評価をいただくことができた。</p>	<p>各項目において「たいへん満足・どちらかといえば満足」の比率が約99%と非常に高く、利用者サービスに努めた結果が現れており、評価できる。</p>
運営目標の達成状況	<p>H29 利用者数 目標値 89,932人 → 実績値 100,612人 目標値に対し約112%の利用者があり、目標を達成した。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>森林セラピーの取り組みを中核とし、主催、自主事業を積極的に実施したことで、利用者数の目標値を上回る成果をあげた。また、利用者満足度も良好で、利用者サービス向上にも十分努めた結果が現れており、指定管理業務は適正に行われたと評価できる。</p> <p>遊歩道危険箇所について、利用者より指摘があったため、臨機の点検ならびに修繕を指示した。</p> <p>公園利用者以外の駐車場利用について、周辺住民より指摘があったため、臨機の点検ならびに注意喚起を指示した。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>遊歩道危険箇所の重点的なパトロールを実施し、腐朽した木製階段の撤去を行うなど、利用者の安全対策に努めた。</p> <p>駐車場の利用状況を確認し、公園利用者以外の利用に注意喚起を促す看板を設置した。</p>	

7 管理体制(組織図)

平成29年4月1日現在

